

ワークショップ  
～哲学者内山節氏とともに考える～  
「おてんまの恵みとは、そしてふるさととは」を開催します

一般社団法人 未来社会推進機構  
代表理事 吉越明人

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」によると、飯山市の人口は、2015年の21,438人から30年後の2045年には10,617人に半減する予想となっています。人口減少は集落の衰退に直接つながることから、抑制・改善するための地域活性化や地方創生を一刻も早く進めていく必要があります。

そこで、一般社団法人未来社会推進機構は、各集落が人口の急激な減少を食い止め、活気ある自治活動が維持できるよう、各集落が抱える課題を、集落との緊密な連携をベースに解消し、その魅力を維持、創出する活動を進めていくことにしました。

また、活動を進めるにあたっては、「集落」というふるさとと、そこに住む住民との関係を改めて考えることが必要であると考えます。そこで、高齢化と人口減少により継続が困難になりつつある、集落の生活の基盤となる「おてんま（集落内の道路や水路などのインフラ整備の共同作業）」について、その意義を改めて検討することを通じて、「ふるさと」と「人」との関係を見直してみたいと考え、下記のとおり「おてんま」をテーマとしたワークショップを開催します。

記

1. 開催日時 2023年6月3日（土） 14:00～16:30 受付 13:30～
2. 会場 飯山市文化交流館なちゅら 多目的ルーム1（飯山市大字飯山 1370-1）
3. 参加費 500円（当日受付時に）
4. 定員 50名（要事前予約）
5. お問い合わせ・お申込み 一般社団法人 未来社会推進機構 担当 出澤  
下記電話番号またはE-mailにてご予約ください。  
電話 0269(67)0520  
e-mail [dezawa@mirai-ss.org](mailto:dezawa@mirai-ss.org)
6. 主催 一般社団法人 未来社会推進機構
7. 協力 寺子屋コンソーシアム  
（古瀬ワークショップデザイン事務所、合同会社共創ラボ、六字映画機構）

1000年集落を  
目指す  
ワークショップ

サステナブルでウェルビーイングな  
地域のみらいをつくるために

～哲学者 内山節氏とともに考える～

# 「おてんまの恵みとは、 そしてふるさととは」



内山節氏



「おてんまという、とかくマイナスのイメージがありますが、  
みんなでおてんまの新たな恵みを探してみませんか。」

1950年東京都生まれ。哲学者。小山元飯山市長とは旧知の仲であり、2017年には、  
足立前飯山市長や星野文紘先達（羽黒山伏）とともに、飯山市主催のパネルディスカッションを  
行った（なちゅら小ホール）。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授などを歴任。  
著書に『共同体の基礎理論』（農文協）など多数。

おてんまとは  
：村の共同作業のこと。道路や河川の掃除、  
共同林の草刈りや間伐作業など、地区によっていろいろ  
あります。原則として一軒から一名が参加します。

開催日時

2023年 6月 3日 土 14:00～16:30  
(受付 13:30～)

会場

飯山市文化交流館なちゅら 多目的ルーム 1 飯山市大字飯山 1370-1

参加費

500円（当日受付時に） 定員：50名 **（要事前予約）**

お問い合わせ  
申し込み

一般社団法人未来社会推進機構 下記電話番号または  
E-mailにてご予約ください

担当：出澤 電話 0269(67)0520

E-mail dezawa@mirai-ss.org

■ 主催  
■ 協力

一般社団法人未来社会推進機構

寺子屋コンソーシアム（古瀬ワークショップデザイン事務所、  
合同会社共創ラボ、六字映画機構）

※2050ゼロカーボンに向けたプラスワンアクションとして、マイボトルの持参、自転車利用をお願いします。  
※長野県地域発元気づくり支援金を活用しています。